

ふくい宇宙産業創出研究会 セミナー 「世界の宇宙ベンチャーと国際宇宙ビジネス動向」

県では、平成 27 年 4 月発表の「福井経済新戦略（改訂版）」に記載された、「宇宙開発現場への売り込みを強める」ため、平成 27 年 9 月にふくい宇宙産業創出研究会を設立しました。

研究会では、宇宙ビジネスに関わる中小ベンチャーから大企業までの経営者や技術責任者、あるいは大学や専門機関などの研究者を福井にお招きし、ビジネス動向、技術動向、先端的宇宙ビジネスへの取り組みなどを紹介するほか、「人工衛星設計基礎論」や「東京大学製造実地研修」なども実施して来ました。この間に、東京大学から超小型人工衛星の量産化研究の提案を受け、工業技術センターおよび福井県内企業との共同研究を通じて、3U サイズの超小型人工衛星を宇宙軌道に到達させるに至っています。



サブオービタル宇宙飛行機の構想

PD エアロスペース社提供

工業技術センターには、クリーンブース、振動試験機、熱真空試験機、六面電波無響室を整備するなど、超小型人工衛星の製造拠点化を目指す「福井県民衛星プロジェクト」も推進させています。

令和初のふくい宇宙産業創出研究会では、経済産業省製造産業局宇宙産業室より、同室の取組みを含めた宇宙産業政策全般についてご紹介します。また、国際的なネットワークと豊富な情報を駆使して宇宙専門の実践的なコンサルティングを行うシー・エス・ピー・ジャパン株式会社の金岡充晃氏と斉藤由佳氏をお招きし、超小型衛星の国際動向とビジネス動向として、年別打上げ統計、CubeSat で可能なミッションとこれらの動向、ナノ・マイクロ級衛星でのビジネス動向、次世代技術の優位性と国際動向などについての情報を提供します。さらに、世界のベンチャー企業の資金調達即ち投資動向の分析情報をご提供します。そして、民間主導で、完全再使用型サブオービタル宇宙飛行機開発を目指すPDエアロスペース株式会社代表取締役の緒川修治氏より、同社の宇宙ビジネス戦略とこれまでの取組みについてご講演頂きます。さらにまた、研究会ではこれまでの活動を振り返る一方、今後の活動計画の一部をご紹介します。

これらにより、宇宙産業を理解し、福井県の立ち位置を明らかに、「宇宙開発現場への売り込みを強める」ための、ものづくり企業の参入支援と技術開発水準向上を支援します。当日は希望者に対し、工業技術センターに導入した熱真空試験機と六面電波無響室の現場見学会を実施します。

ふくい宇宙産業創出研究会セミナーへのご参加をお待ちしております。

以 上

「世界の宇宙ベンチャーと国際宇宙ビジネス動向」講師ご紹介

◎超小型衛星の先端技術動向と国際ビジネス動向

シー・エス・ピー・ジャパン株式会社

航空宇宙政策・産業グループ

シニアアナリスト 金岡充晃 氏

日本大学大学院機械工学研究科にて修士号を取得、文部省宇宙科学研究所特別共同利用研究員として研究に従事。2001年シー・エス・ピー・ジャパン株式会社入社。以来、官庁や宇宙機関及び民間企業の技術・政策・法規制に関する調査コンサル業務を実施。また、民間ロケット事業及び民間衛星サービス事業の企画・調整支援を実施。



◎世界の宇宙ベンチャーに対する投資動向調査分析

シー・エス・ピー・ジャパン株式会社 航空宇宙政策・産業グループ アナリスト 斎藤由佳 氏



東京工業大学大学院理工学研究科にて修士号を取得、株式会社三菱総合研究所に入社。宇宙関連情報の収集・分析、宇宙開発戦略の策定等の業務に従事。宇宙開発事業団への出向、宇宙航空研究開発機構招聘研究員としての勤務により宇宙太陽光発電システムの研究開発に従事後、2007年シー・エス・ピー・ジャパン株式会社に入社。以来、内閣府、経済産業省、航空宇宙工業会、宇宙航空研究開発機構、民間企業を対象とした宇宙関連情報の収集・分析、宇宙戦略の策定、宇宙関連新規事業の計画等のコンサルタントを実施。

◎ガレージからの宇宙開発。PDエアロスペースの挑戦。

PDエアロスペース株式会社 代表取締役 緒川修治 氏

幼い頃から父が自宅で行う実験や考案を手伝う。航空機メーカーでの新型航空機開発プロジェクトや自動車機関係部品開発に携わる。'07年5月 宇宙機開発ベンチャー、PDエアロスペースを設立。独自技術のエンジンを搭載した「完全再使用型弾道宇宙飛行機」の開発に着手。'13-14年 内閣府宇宙戦略室 部会委員を務める。現在、JAXA および複数大学、企業と連携し、無人実験機の開発を進めている。福井大学工学部 機械科 卒、東北大学大学院 航空宇宙工学専攻 修了。

